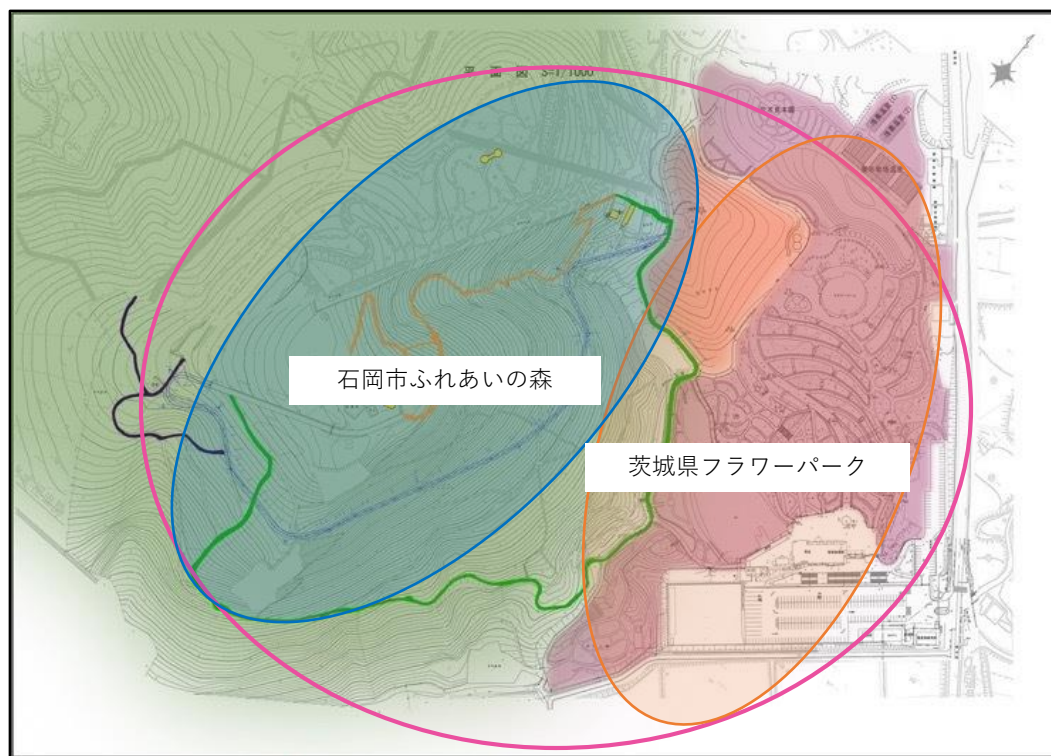


『石岡市ふれあいの森』の大規模リニューアルについて

施設概要



- ・茨城県フラワーパークの高台にある約18haの「石岡市ふれあいの森」。

- ・園内には、**手入れされた里山ならではの美しい自然**と、250本の河津桜を始めシャガやヤマユリなど**四季折々の花々**。

- ・延長800mの“花のすべり台”や“フラワーサイクル”などの遊具は**子どもたちに大人気**。

目的

- 豊かな自然と地域に根ざした里山文化が体験でき、森のここちよさと大切さを未来に向かって継承する滞在型観光施設としてリニューアルを行ないます。
- 宿泊施設はロッジのほか、グランピングサイト等を整備予定。
- 様々な森を体験できる仕掛けで、フラワーパークと行き来しながら一日中楽しめる施設を目指します。

リニューアル概要

コンセプト

やさとの森に暮らす ～人生を変える里山の体験～

かつて里山には、人と自然が共生する持続可能な暮らしがありました。子ども達は森で遊びながら、木や動物、昆虫、星について学び、健やかに成長しました。森の資源をみんなで守り、大切に使いながら、自然とともに豊かに生きる。そんな**未来の生き方を体験できる施設**を目指します。

主要エリア

本計画では4つのゾーンを検討しています。

- ① 森の入り口ゾーン
- ② 森の小道ゾーン
- ③ 森の暮らしゾーン
- ④ 森の探検ゾーン

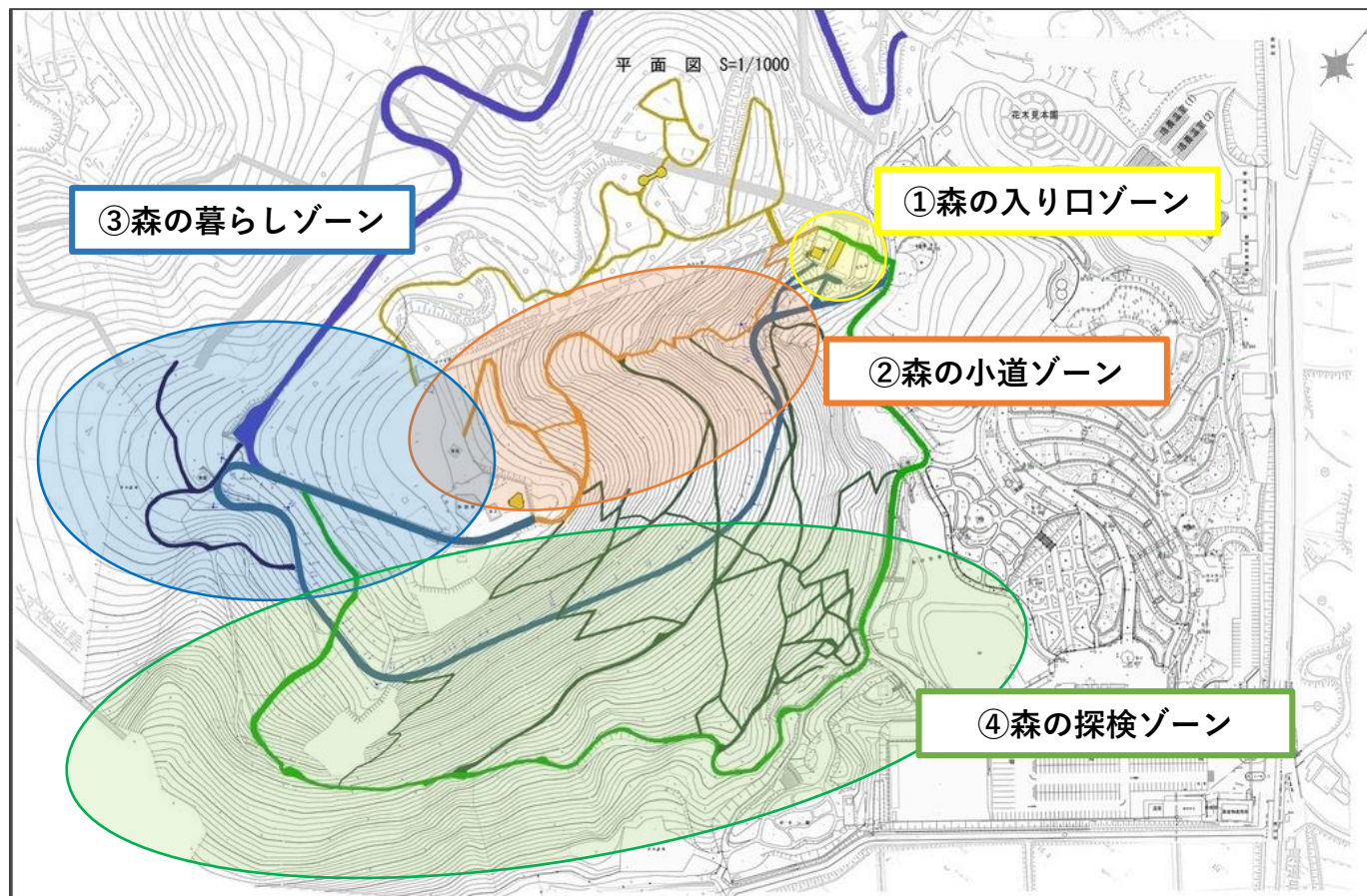
事業費

約3億6千万円（2019（R元）年度3月補正予算）

オープン

2021（R3）年4月下旬頃を予定

施設リニューアルイメージ ゾーニング



各ゾーンごとの特性を生かした、森を体感できるアクティビティを提供し、記憶に残る体験をつくります。

宿泊施設 イメージパース



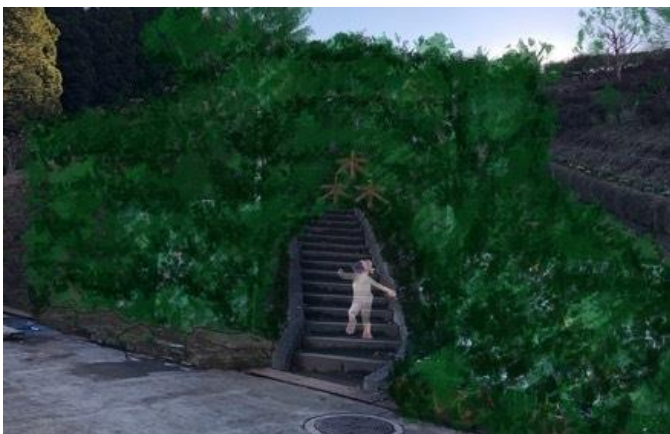
デッキの上で、パノラマの景観や星空を楽しめます。

宿泊施設 イメージパース



デッキ下部に円形にロッジを配置し、客室や管理棟、炊事場等の機能を計画しています。
中央の広場では、キャンプファイアーや野外ライブなどのイベントを囲んで楽しむことができます。

各ゾーン整備計画 イメージ



①森の入り口ゾーン

森に入りたくなるワクワクを仕掛ける



②森の小道ゾーン

森に分け入っていくウキウキを仕掛け頂上まで導く



③森の暮らしゾーン

里山で暮らすようにのびのびと過ごしてもらう



④森の探検ゾーン

森の面白さに気づいてヘトヘトになるまで遊んでもらう